

国内実態調査報告書

テーマ : 富士山麓の自然の成り立ちと水の利用
ゼミ名 : 西川 可穂子ゼミ
調査日 : 2019年8月14日(水)～8月15日(木)
調査先 : なるさわ富士山博物館
授業科目名 : 演習 I
参加学生数 : 18名(3年生)

調査の趣旨(目的)

西川ゼミでは、自然の成り立ちと水の利用について取り上げている。富士山には、世界一の種類と規模を誇る溶岩樹型が存在する。それを見学し、過去から現在に至る環境の変化などを観察する。

調査結果

富士山内部のマグマや地下水などを透明な巨大富士山模型を見学し、また様々な溶岩の実物などが観察できた。日本の代表的な山である富士山の成り立ちと豊富な水の涵養への寄与について学ぶことができた。その後、水質調査などを予定していたが、雨がひどくなり、河川の増水などが心配されたので、残念ながら水質調査は実施できなかった。